

UJF-605CII

UV INKJET PRINTER

日常のお手入れマニュアル

お願い

インクジェットプリンタは非常に微細なメカニズムを持つ精密機械です。特に、インクを吐出するヘッドのノズル面はわずかなホコリや紙粉の付着でも、吐出に影響を及ぼし、正常な作図結果を得られなくなる可能性があります。インクジェットプリンタの精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的に、以下のお手入れを日常行われることをお勧めします。










目次

画質不良が解消されない場合は.....	5
フラッシングトレイのクリーニング.....	8
廃インクタンクのインクが溜まったら.....	10
温水装置の水を交換する[オムロンカ].....	11
白インク（ホワイト）の定期メンテナンス[ホワイトメンテナンス].....	17
フィルタのお手入れ.....	19
作図中のインク滴のボタ落ちを防ぐためには.....	20
不凍液・メンテナンス用洗浄液の保管.....	22
メディアの保管.....	22
インクカートリッジの保管.....	22

使用環境とお手入れについて

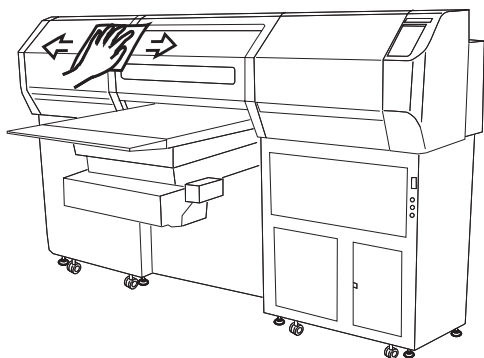
- ・ できるだけホコリの少ない環境で使用してください。扇風機、送風機なども周囲のホコリを舞い立たせる原因です。
- ・ 紫外線硬化インク（UV インク）を使用するので、換気のよい場所に設置してご使用ください。
- ・ 使用環境温度は +15 °C ~ +30 °C です。これより低温 / 高温でのご使用は避けてください。

お手入れ上のご注意

	★ 本装置は、絶対に分解しないでください。感電および破損する原因になります。
	★ 本装置の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電および破損する原因になります。
	★ お手入れは、主電源スイッチをオフにし、電源ケーブルを抜いてから行ってください。思わぬ事故が発生する原因になります。
	★ UV ランプの温度が完全に下がってから、お手入れを行ってください。火傷をする危険性があります。
	★ ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質・変形する恐れがあります。
	★ 本装置の内部に潤滑油などを注油しないでください。プリンタ内部が故障する恐れがあります。
	★ 本装置は紫外線硬化インク（UV インク）を使用するプリンタです。お手入れの際には必ず付属のゴーグルと手袋を装着して行ってください。
	
	★ 紫外線硬化インク（UV インク）は、水やアルコールと混ぜると凝集物が発生いたします。ノズル面はもちろん、ヘッド周辺やキャップ、吸引ノズルなどへは、水またはアルコールを付着させないようご注意ください。

テーブル、外装のお手入れ

本体の外装が汚れた場合は、柔らかい布に水または水で薄めた中性洗剤を含ませ、堅くしぼってから拭き取ってください。テーブル上のホコリも清掃してください。






画質不良が解消されない場合は

ステーション内部の汚れがひどい場合、またヘッド（ノズル）のクリーニング機能（⇒取扱説明書 P.2-20）を実行しても画質不良が解消されない場合は、洗浄キットを使用して、吸引ノズルとキャップのクリーニングを行ってください。

以下の洗浄キットを使用して、吸引ノズルとキャップのクリーニングを行います。

・メンテナンス用洗浄液・手袋・清掃棒・ゴーグル

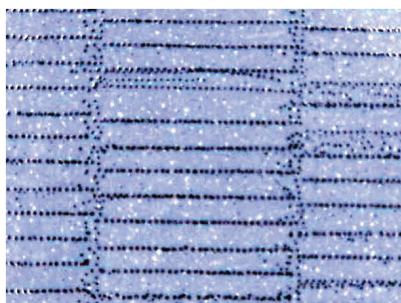
-  ★ 清掃をする場合は、必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。インクが目に入る場合があります。
-  ★ アルコール、水等は使用しないでください。
-  ★ キャリッジを手でキャッピングステーションから出さないでください。キャリッジは操作キーを使用して動かします。

注意

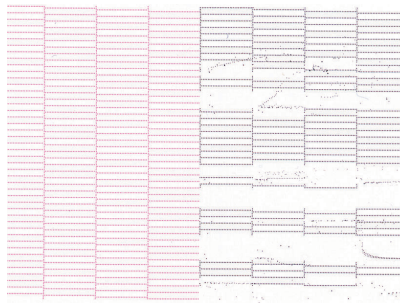
作図不良の例

ホコリなどを原因として発生する、ヘッドの吐出不良が作図に及ぼす代表的な例を示します。このような状態でご使用にならないように、出力前や出力中に定期的にノズルの状態を確認されることをお勧めします。ノズルの状態は、本装置の「テスト作図」で確認することができます。（⇒取扱説明書 P.2-19）

飛行曲がり



ノズル抜け



ボタ落ち



しぶき



操作手順

1. ローカルモードから、【FUNCTION】キーを押します。

<<ローカル>>

FUNCTION
データクリア <ENT>

2. ジョグキー【▲】【▼】を押して、[メンテナンス]を選びます。

▲
FUNCTION
メンテナンス <ENT>
▼

3. 【ENTER】キーを押します。

ENTER
メンテナンス
リスト <ent>

4. ジョグキー【▲】【▼】を押して、[ステーションメンテ]を選びます。

▲
メンテナンス
ステーション メンテ <ent>
▼

5. 【ENTER】キーを押します。

ENTER
ステーション メンテ
キャリッジ アウト :ent

6. 【ENTER】キーを押します。
キャリッジがテーブル上に移動します。

ENTER

7. 右側のメンテナンスカバーを開けます。



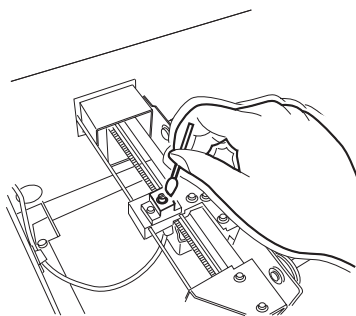
8. メンテナンス用洗浄液を含ませた専用の清掃棒で吸引ノズルのよごれを取り除きます。



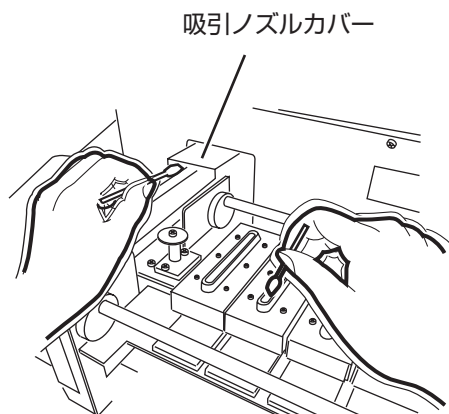
★ 吸引ノズルはていねいにクリーニングしてください。



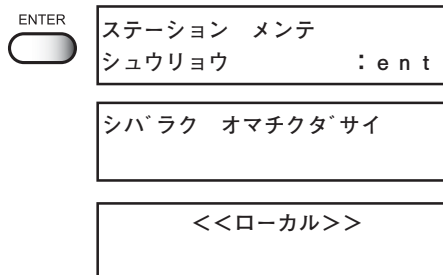
- 汚れ、曲がりかひどい場合は、新しい吸引ノズルと交換する必要があります。販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
- 専用の清掃棒をお求めの際は、販売店または弊社営業所までお問い合わせください。



9. キャップのゴムや、吸引ノズルカバーの内側に付着したインク等を専用の清掃棒で拭き取ります。



10. メンテナンスカバーを閉め、【ENTER】キーを押します。
初期動作を実行し、ローカルモードに戻ります。



ノズル吐出不良の回復方法

本装置を長時間ご使用にならなかった場合や、環境温度によってはノズルの吐出が安定しなくなることがあります。この場合、ノズルを回復させるために以下の方法があります。これらの方法を行ってもノズル吐出が回復しない場合には、弊社サービスまたはお買い上げの代理店にご連絡いただき、ヘッド交換等の処置が必要になります。

1. 日常のお手入れを行う
本文に記載されている、各所のお手入れを行ってください。
2. ヘッドのクリーニングをする（⇒取扱説明書 P.2-20）
前述のお手入れを行った後、取扱説明書の手順にしたがってクリーニングを実行してください。クリーニングとテスト作図を繰り返し、ノズル抜けが無くなる事を確認します。



- これまでの操作でノズル抜けが回復しない場合には、弊社または本装置をお買い上げいただいた販売店にサービスコールをしてください。

フラッシングトレイのクリーニング

フラッシングトレイにたまった廃インクをふき取ります。

クリーニングに必要な物：

メンテナンス用洗浄液・手袋・紙タオル・ゴーグル



★ 清掃をする場合は、必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。インクが目に入る場合があります。



注意

★ キャリッジを手でキャッピングステーションから出さないでください。キャリッジは操作キーを使用して動かします。

★ フラッシングトレイにたまった廃インクは、こまめに取り除いてください。UV ランプの光に当たり、固まって除去できなくなる場合があります。

ステーション内部の洗浄

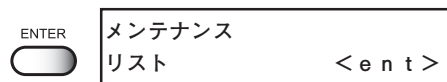
1. ローカルモードから、【FUNCTION】キーを押します。



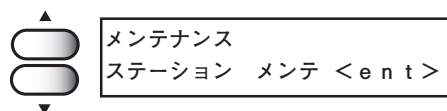
2. ジョグキー【▲】【▼】を押して、[メンテナンス]を選びます。



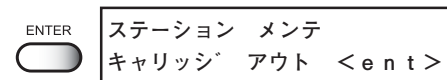
3. 【ENTER】キーを押します。



4. ジョグキー【▲】【▼】を押して、[ステーションメンテ]を選びます。



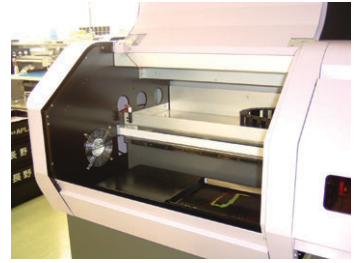
5. 【ENTER】キーを押します。



6. 【ENTER】キーを押します。
キャリッジがテーブル上に移動します。



7. 左側のメンテナンスカバーを開けます。



8. フラッシングトレイにたまった廃インクをメンテナンス用洗浄液を含ませた紙タオルで拭き取ります。
固まったインクがある場合は、軽くたたいて取り除きます。



注意

★ UV ランプの光によって強固に固まり、除去できなくなったインクがある場合、固まったインクによってヘッドを破損する恐れがあります。この場合には、新しいフラッシングトレイと交換する必要があります。販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。

9. メンテナンスカバーを閉め、【ENTER】キーを押します。
初期動作を実行し、ローカルモードに戻ります。



ステーション メンテ
シュウリョウ : e n t

シバラク オマチクダサイ

<<ローカル>>

廃インクタンクのインクが溜まったら

ヘッドクリーニングなどで使用したインクは、廃インクタンクに溜まります。



- 予備の廃インクタンクをお求めの場合は、お近くの販売店または弊社営業所までお問い合わせください。
- 廃インクを移すポリエチレンタンクをご用意ください。



★ ヘッドクリーニング中などのインク排出中の場合は、排出が終了してから作業を行ってください。

廃インクがタンクに一杯になると、次のエラーを表示します。

！ハイインクタンク
ハイインクタンク フル

交換手順

1. 廃インクボックスカバーを開けます。
2. 廃インクタンクを下げながら、手前に引き出します。



注意

★ 廃インクタンクを引き出す際に、廃インクを飛ばさないように、廃インクタンクの口をティッシュなどで押さえながら、ゆっくり引き出してください。

★ インクで床を汚さないように、下に紙を敷いてから廃インクタンクを交換してください。



3. 廃インクを別のポリエチレンタンクに移します。



★ 廃インクは、使用している地域の条例に従って処分してください。

4. 空にした廃インクタンクを再度セットします。
廃インクボックスカバーを締めます。



注意

★ 空の廃インクタンクを入れる場合、ケースの角で指などのけががないように注意して入れてください。



5. 【ENTER】キーを押して、終了します。
ローカルモードに戻ります。

ENTER



ハイインク タンク
タンクシヨリカンリヨウ : e n t

<<ローカル>>

温水装置の水を交換する[オスイウカン]

インクの状態を適温に保つため、温水装置稼働させます。温水装置内の温水タンクに、不凍液と水をいれます。半年に一回、必ず確認してください。

補充・交換に関する注意



注意

- ★ 水のつぎたしはできません。
- ★ 水と不凍液の混合液の割合は、水2：不凍液1にしてください。その後補充、または交換を行ってください。
- ★ 不凍液を入れず、水だけを温水タンクに入れた場合は、ヘッドが故障する原因になります。
- ★ 温水装置に必要な水量、温水タンク内の汚れを確認するために半年に一回、温水装置の確認をしてください。
- ★ 温水タンクの水不足が頻繁に起きる場合は、販売店または弊社営業所までサービスコールしてください。
- ★ 不凍液と混ぜた水は、使用している地域の条例に従って処分してください。



不凍液の取り扱い上のご注意



- ★ 不凍液の取り扱い場合は、必ず付属のゴーグルおよび手袋を着用してください。



- ★ 不凍液は、弊社専用の不凍液をご使用ください。温水装置が故障する恐れがあります。



- ★ 不凍液には直接ふれないようにしてください。誤って不凍液を付けてしまったときは、石けんを使って、すぐに流水で洗い落としてください。万一、不凍液が目に入ったときは、大量の流水で洗い、医師に相談してください。
- ★ 不凍液は冷暗所で保存してください。
- ★ 不凍液は、子供の手の届かない場所に保管してください。
- ★ 不用となった不凍液は、産業廃棄物処理業者に内容物を明確にして処理を委託してください。
- ★ 不凍液をご使用前に、必ず製品安全性データシート（MSDS）をお読みください。



- 予備の温水タンクをお求めの場合は、お近くの販売店または弊社営業所までお問い合わせください。
- 廃温水タンク水を移すポリエチレンタンクをご用意ください。
- 温水タンクの水が不足すると、次のエラーを表示します。エラーを表示した場合は、下記の手順と同様に、水を交換してください。

ERROR 70
ミスブク

不凍液の補充・交換方法

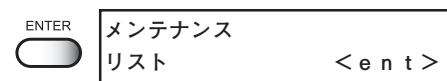
1. ローカルモードから、【FUNCTION】 キーを押します。



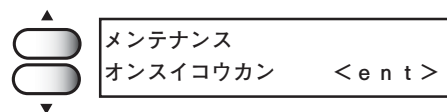
2. ジョグキー【▲】【▼】を押して、[メンテナンス]を選びます。



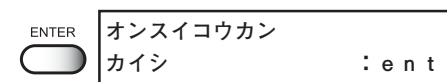
3. 【ENTER】 キーを押します。



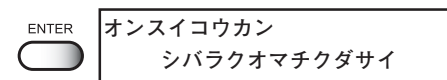
4. ジョグキー【▲】【▼】を押して、[オンスイコウカン]を選びます。



5. 【ENTER】 キーを押します。



6. 【ENTER】 キーを押すと、温水装置の冷却作業を開始します。

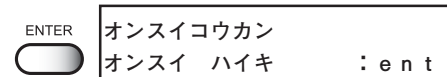


注意

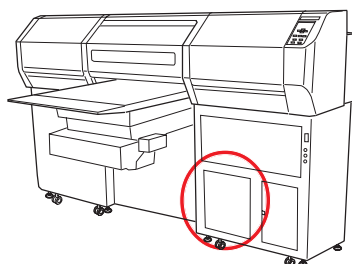
★「シバラクオマチクダサイ」が消えるまえに、温水装置は触らないでください。高温のため、火傷をする恐れがあります。

また、交換作業前に本装置を使用していた場合、「シバラクオマチクダサイ」が消えるまで約20分程かかります。

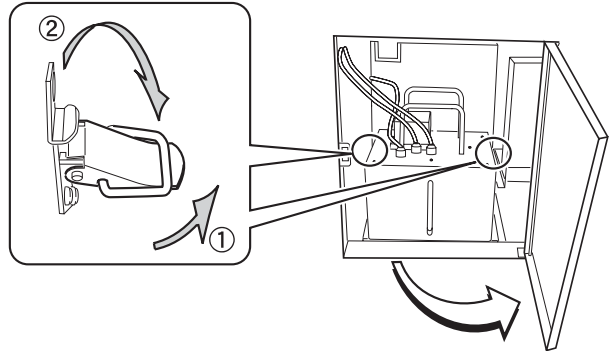
7. 【オンスイハイキ】が表示されたら、【ENTER】 キーを押します。



8. 温水装置カバーを開けます。



9. カバーの両サイドにあるキャッチクリップを外します。

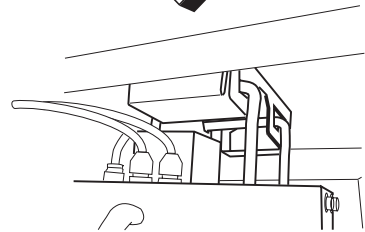
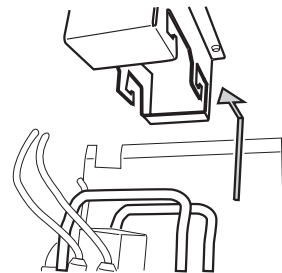


10. 温水装置カバーを持ち上げ、温水装置のハンガーをフックにかけます。




注意

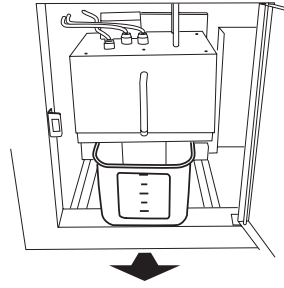
★ フックにハンガーを掛ける際は、ケーブル、チューブを折り曲げたり、無理な力をかけて引っ張らないでください。温水装置の故障の原因となります。




11. 温水タンクを取り出します。

 ★ 水はこぼれないように交換してください。万一、こぼれてしまった場合は、必ずふき取ってください。


注意



12. 廃温水タンク水を別のポリエチレンタンクに移します。

 ★ 水はこぼれないように交換してください。万一、こぼれてしまった場合は、必ずふき取ってください。


注意

 ★ 廃温水タンク水は、使用している地域の条例に従って処分してください。

13. 空の温水タンクを温水装置にセットします。


14. 温水装置を元に戻し、キャッチクリップを締めて、カバーを閉じます。

15. **[ENTER]** キーを押します。
本装置内にたまった不凍液を排出します。

ENTER 

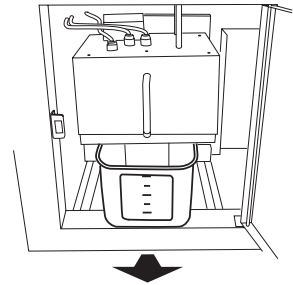
オンスイコウカン タンク セット	: e n t
オンスイコウカン シバラクオマチクダサイ	

16. **[オンスイハイキ]** が表示されたら、**[ENTER]** キーを押します。


ENTER 

オンスイコウカン オンスイ ハイキ	: e n t
----------------------	---------


17. 温水装置カバーを開け、温水タンクを取り出します。




18. 再度、廃温水タンク水を別のポリエチレンタンクに移します。

 ★ 水はこぼれないように交換してください。万一、こぼれてしまった場合は、必ずふき取ってください。

注意

 ★ 廃温水タンク水は、使用している地域の条例に従って処分してください。

19. 温水タンクを洗います。

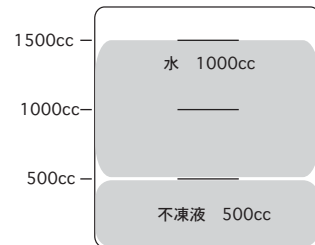
 ★ 中性洗剤を使用してタンクを洗った場合は、よく水でタンクをゆすいでください。

注意



20. 温水タンクに不凍液と水を入れます。
付属の不凍液 500cc を入れた後に、水 1000cc の水を入れてください。

不凍液と水の割合



21. 温水タンクと温水装置を元に戻し、キャッチクリップを締めて、カバーを閉じます。

22. 【ENTER】キーを押します。

ENTER
オンスイコウカン
フトウエキ セット : e n t

23. 【END】キーを押し、【オンスイコウカン】を終了します。

END
メンテナンス
オンスイコウカン < e n t >

白インク（ホワイト）の定期メンテナンス[初回メンテナンス]

白インク（ホワイト）は他のインクに比べて沈殿しやすい性質があります。本装置を2週間以上使用しない場合、プリンタ内部またはカートリッジ内部で沈殿してしまう場合があります。沈殿した場合、作図時にノズル詰まりが発生し、正常な作図結果が得られなくなります。これを防ぐため、また白インクの状態を良好に保つために、必ず下記の定期的メンテナンスを行ってください。



- ★ インクカートリッジは、弊社推奨のインクカートリッジをご使用ください。
- ★ 一週間に一度必ず、白インクの状態を良好に保つため、インクカートリッジを抜き、白インクを10回程度ゆっくりと、上下に振ってください。

操作手順

1. ローカルモードから、【FUNCTION】キーを押します。

<<ローカル>>

FUNCTION



FUNCTION

データクリア

<ENT>

2. ジョグキー【▲】【▼】を押して、[メンテナンス]を選びます。



FUNCTION

メンテナンス

<ENT>

3. 【ENTER】キーを押します。



メンテナンス

リスト

<ent>

4. ジョグキー【▲】【▼】を押して、[ホワイトメンテナンス]を選びます。



メンテナンス

ホワイトメンテナンス <ent>

5. 【ENTER】キーを押します。



ホワイトメンテナンス

カートリッジリハズ

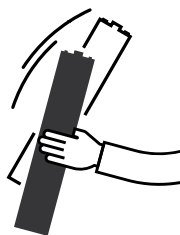
6. 白インクカートリッジをインクステーションから抜きます。

7. 【ENTER】キーを押します。
白インクの排出作業を行います。



ハイシュツチュウ
シバラクオマチクダサイ

-
8. 白インクカートリッジを10回程度ゆっくりと上下に振ります。



9. 白インクカートリッジをインクステーションに戻します。

10. 【ENTER】キーを押し、インク充填を開始します。
白インク充填終了後に、右記表示になります。



ホワイトメンテナンス
カートリッジリセット

ジュウテンチュウ
シバラクオマチクダサイ

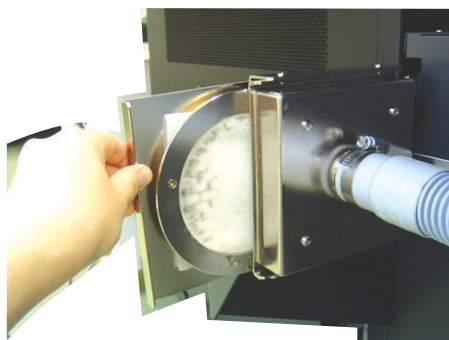
メンテナンス
ホワイトメンテナンス < e n t >

フィルタのお手入れ

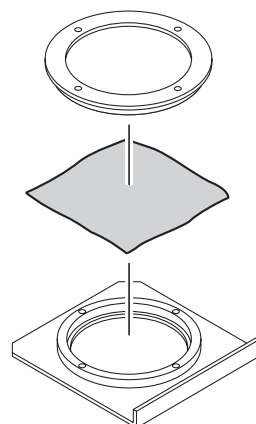
本装置には、テーブル用にフィルタが付いています。

フィルタがつまると、メディアの吸着力が落ちます。ホコリの付着は、掃除機などで除去してください。インク付着により、目詰まりが始まっている場合は、フィルタを交換してください。

1. バキュームスイッチをオフにします。
2. フィルタユニットからフィルタホルダーを引き抜き、取り外します。



3. フィルタホルダーから古いフィルタを取り外し、新しいフィルタと交換します。
フィルターは、四つ折り状態のまま位置を合わせ、全周をはさみこみ固定します。



4. フィルタホルダーをフィルタユニットに取り付けます。
フィルタユニットにホルダを戻します。

作図中のインク滴のボタ落ちを防ぐためには

キャリッジ下面のヘッドガードプレートには、作図によるインク滴が発生することがあります。インク滴のボタ落ちによりメディアが汚れたり、作図不良の原因となりますので、定期的にキャリッジ下面をクリーニングしてください。

クリーニングに必要なもの：清掃棒、メンテナンス洗浄液、手袋、メガネ



- ★ 必ず電源をオフにしてから、クリーニングを行ってください。
- ★ 十分にUV照射器具が冷えてから作業を行ってください。

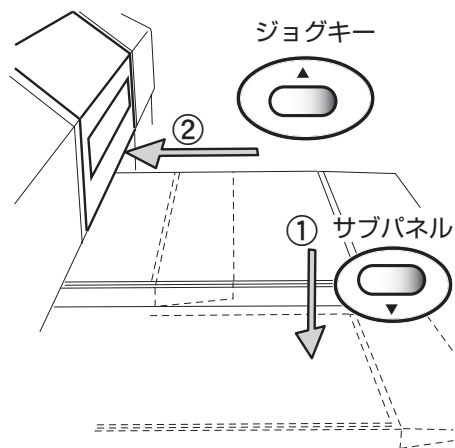
操作手順

1. ローカルモードになっていることを確認します。

<<ローカル>>

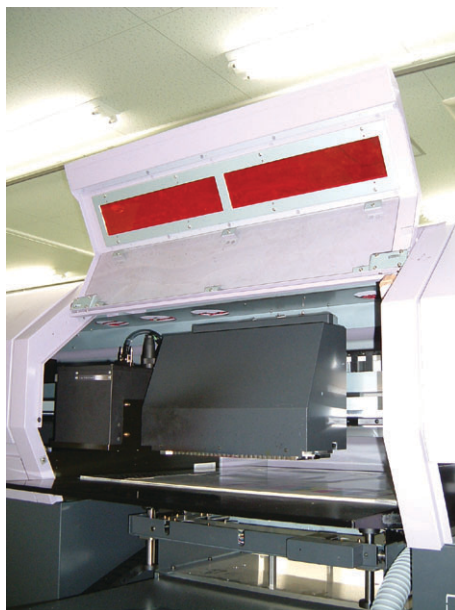
2. サブパネルの【▼】キーを押して、テーブルを下げます。

3. ジョグキー【▲】を押して、テーブルを奥側に移動させます。



4. ジョグキー【▶】を押して、ヘッドをテーブル上まで動かします。

5. 本装置の電源をオフにして、正面カバーを開けます。



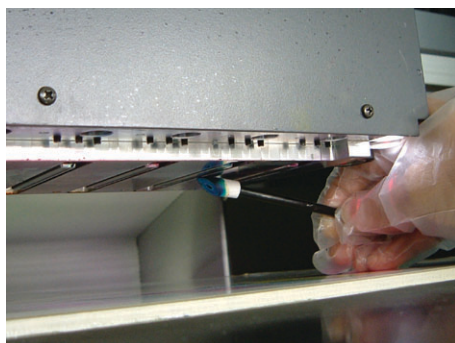
6. メンテナンス洗淨液を含んだ清掃棒でキャリッジ下面をクリーニングします。
清掃棒の背部分を使って、キャリッジ下面をクリーニングします。



★ ヘッド、ノズルには絶対に触らないでください。破損する原因になります。



● 専用の清掃棒をお求めの際は、販売店または弊社営業所までお問い合わせください。



7. クリーニング終了後、正面カバーを閉め、電源をオンにします。

不凍液・メンテナンス用洗浄液の保管

不凍液、メンテナンス用洗浄液は、冷暗所で保管してください。また子供の手の届かない場所に保管してください。

メディアの保管

メディアは、ほこりがつきにくく直射日光が当たらない場所に保管することをお勧めします。また湿度も嫌いますので高温多湿な場所での保管は避けてください。

インクカートリッジの保管

直射日光があたり、湿度の高くない場所に保管してください。

精細な製品ですから、落下させたりぶつけたりしないでください。

インクカートリッジに装着されている基板（右写真）は、汚したり、静電気放電させたりしないでください。

